

令和5年度
城東区民アンケート結果

令和6年6月

大阪市城東区役所

目次

1. 調査の概要

1-1.	調査目的	1
1-2.	調査方法	1
1-3.	調査内容	1
1-4.	配布・回収結果	2
1-5.	調査結果の見方	2
1-6.	標本誤差	2
1-7.	標本の代表性	3

2. アンケートの結果

問1	区役所からの情報の入手先	5
問2	広報誌で充実してほしい記事	6
問3	区役所の取組みに対する思い	7
問4	区役所1階のレイアウト変更後の過ごしやすさ	8
問5	区役所1階のレイアウト変更に対する不満の理由	9
問6	各種イベントの企画運営に参加の思い	10
問7	住民同士の「つながり」等に対する感じ方	11
問8	防災活動の取組みに対する感じ方	12
問9	広報誌やSNS等の防災に関する情報の認知	13
問10	広報誌やSNS等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方	14
問11	災害に備えた備蓄品の準備	15
問12	防犯の取組みに対する感じ方	16
問13	まちの安全に対する感じ方	17
問14	防犯の取組みが安全と感じない理由	18
問15	マイナンバーカードの取得有無	20
問16	マイナンバーカードを取得しない理由	21
問17	中学生以下の子どもの子育て有無	22
問18	城東区で子どもを育てたい思い	23
問19	子育て支援事業の参加有無	24
問20	子育て支援事業の開催情報の入手先	25
問21	「いきいき百歳体操」の認知	26
問22	「いきいき百歳体操」に関する情報の入手先	27
問23	健康に配慮した食事への思い	28
問24	朝食摂取の有無	29
問25	年齢	30
問26	性別	30
問27	家族構成	30
問28	居住年数	31
問29	お住まいの地域	31

(参考) クロス集計 _____ 別紙
(参考) 挨拶状・アンケート調査票 _____ 別紙

1. 調査の概要

1-1. 調査目的

城東区役所では、区の運営方針に基づき、経営課題の解決に向けさまざまな取り組みを行っています。

今回は、区の情報発信などについて、区民の皆様が現時点でどのように感じておられるかを把握し、今後の事業に役立てるためにアンケートを実施しました。

1-2. 調査方法

調査区域：城東区全域

調査対象：住民基本台帳および外国人登録から無作為抽出をした、18歳以上の2,000人

調査時期：令和6年2月17日（土）～令和6年3月1日（金）

調査方法：郵送による配布・回収及び大阪市行政オンラインシステムによるアンケート

1-3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下のとおりです。

■アンケート調査の項目

問1	区役所からの情報の入手先	問14	防犯の取組みが安全と感じない理由
問2	広報誌で充実してほしい記事	問15	マイナンバーカードの取得有無
問3	区役所の取組みに対する思い	問16	マイナンバーカードを取得しない理由
問4	区役所1階のレイアウト変更後の過ごしやすさ	問17	中学生以下の子どもの子育て有無
問5	区役所1階のレイアウト変更に対する不満の理由	問18	城東区で子どもを育てたい思い
問6	各種イベントの企画運営に参加の思い	問19	子育て支援事業の参加有無
問7	住民同士の「つながり」等に対する感じ方	問20	子育て支援事業の開催情報の入手先
問8	防災活動の取組みに対する感じ方	問21	「いきいき百歳体操」の認知
問9	広報誌やSNS等の防災に関する情報の認知	問22	「いきいき百歳体操」に関する情報の入手先
問10	広報誌やSNS等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方	問23	健康に配慮した食事への思い
問11	災害に備えた備蓄品の準備	問24	朝食摂取の有無
問12	防犯の取組みに対する感じ方	属性	
問13	まちの安全に対する感じ方	問25	年齢
		問26	性別
		問27	家族構成
		問28	居住年数
		問29	お住まいの地域

1-4. 配布・回収結果

回答者数：714人（郵送による回答460人、大阪市行政オンラインシステムによる回答254人）

回答率：35.7%

1-5. 調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第1位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- ・数値に関する記述は下記の基準にしたがっています。

例：	3割	30%
	約3割	28～29%、31～32%
	3割強	33～34%
	3割半	35%
	4割弱	36～37%

1-6. 標本誤差

標本誤差とは、標本による測定値(調査の結果)に基づいて、母集団値を推定するものです。

今回の調査は標本調査として実施しています。しかし、1-4. 配布・回収結果で示した通り回答率は35.7%に留まっています。そして、後述する1-7. 標本の代表性で述べる通り標本(アンケート回答者集団)は各年齢区分間において母集団に対する代表性を有しない(偏りがある)と判断されています。

理論的に求められる標本誤差については次の式で算出できますが、上記の理由から本調査の結果には標本誤差以外に大きな非標本誤差が発生している可能性が高く、本調査の結果を母比率の推定値として用いる場合にはこの点に留意する必要があります。

信頼度95%で推定した場合の信頼区間1/2幅(標本誤差)は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

(単位：%)

	回答比率(P) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	714	1.6	2.2	2.6	2.9	3.2	3.4	3.5	3.6	3.6	3.7
男性	283	2.5	3.5	4.2	4.7	5.0	5.3	5.6	5.7	5.8	5.8
女性	411	2.1	2.9	3.5	3.9	4.2	4.4	4.6	4.7	4.8	4.8
30代以下	128	3.8	5.2	6.2	6.9	7.5	7.9	8.3	8.5	8.6	8.7
40～50代	241	2.8	3.8	4.5	5.1	5.5	5.8	6.0	6.2	6.3	6.3
60代以上	331	2.3	3.2	3.8	4.3	4.7	4.9	5.1	5.3	5.4	5.4

例えば、問3の「区役所が様々な取組み(施策・事業・イベントなど)について、企画・計画段階から区民の参画や協働を得るように努めているか」の結果を見ると、『肯定的意見の割合』(「思う」+「ある程度思う」)は男性57%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値(55%)の『男性』の標本誤差の数値5.8%です。

つまり、母集団を対象にこの調査を行なったところ、「肯定的意見の割合」の男性が57%の前後5.8%の区間内、すなわち51.2%-62.8%の区間内にあることが95%の確率で期待されるということの意味しています。

1-7. 標本の代表性

母比率の推定などの統計的推定を行うためには、標本(回答者集団)が母集団に対する代表性を有している必要があります。この点について検証するため、適合度検定を行います。検定する仮説は次のとおりです。

(帰無仮説) 標本は母集団に対する代表性を有する(偏りが無い)

(対立仮説) 標本は母集団に対する代表性を有しない(偏りがある)

有意水準は5%に設定し、検定から得られるP値が有意水準を上回るかどうかで判断します。

(なお、有意水準は「判断が誤っていることをどの程度まで許容するか」を決める基準で事前に決定します。これを5%にするということは、判断が誤っている確率を5%までは許容するということです。また、P値は「帰無仮説が正しいとした場合に、観測された状態を含め、より極端な状態が観測される確率」です。今回の帰無仮説は「標本は母集団に対する代表性を有する」です。これは「標本は母集団から無作為抽出されたものである」と同義ですので、P値は「母集団から無作為に抽出した場合に、回答者集団のような偏りを含め、もっと偏った集団が抽出される確率」ということになります。)

■母集団の大きさ(N) (令和5年9月現在の住民基本台帳人口)

(単位：人)

	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	20,882	24,992	22,530	68,404
女性	21,641	25,817	29,641	77,099

■有効回答者数(n)

(単位：人)

	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	49	91	142	282
女性	77	144	186	407

■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合 (n/N)

(単位：%)

	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	0.23	0.36	0.63	0.41
女性	0.36	0.56	0.63	0.53

■適合度検定によるP値の算出

男女間におけるP値	7.43%
各年齢区分間におけるP値	1.58%

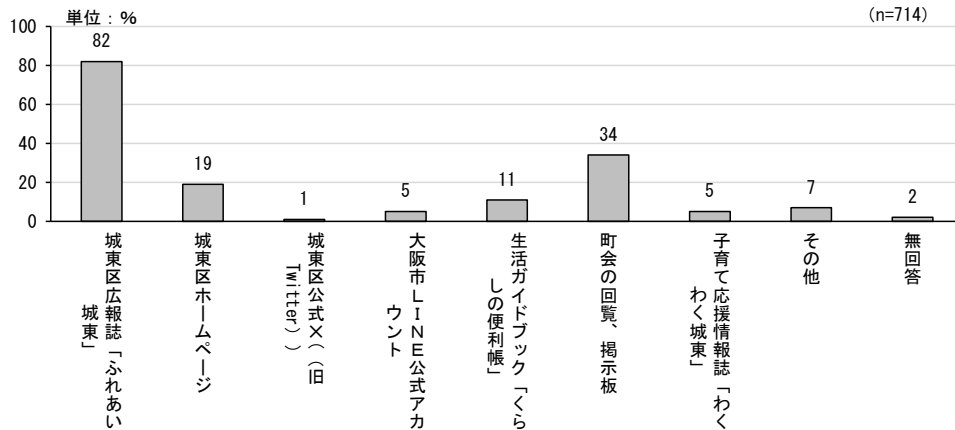
適合度検定から得られる男女間におけるP値は7.43%であり有意水準を上回っているものの、一方で各年齢区分間におけるP値は1.58%であり有意水準を下回っていることから、帰無仮説が棄却され、対立仮説が採択されます。つまり、標本は各年齢区分間において母集団に対する代表性を有しない（偏りがある）と判断されます。

2. アンケートの結果

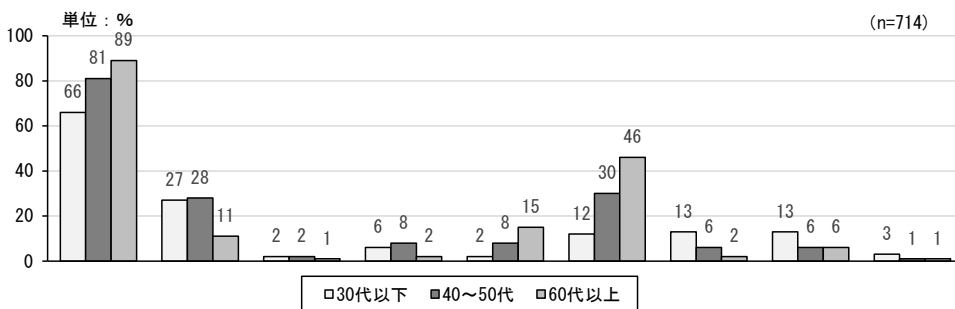
問1 あなたは、城東区役所からの情報を主に何から入手していますか。（回答はいくつでも）

●区役所からの情報の入手先（複数回答）

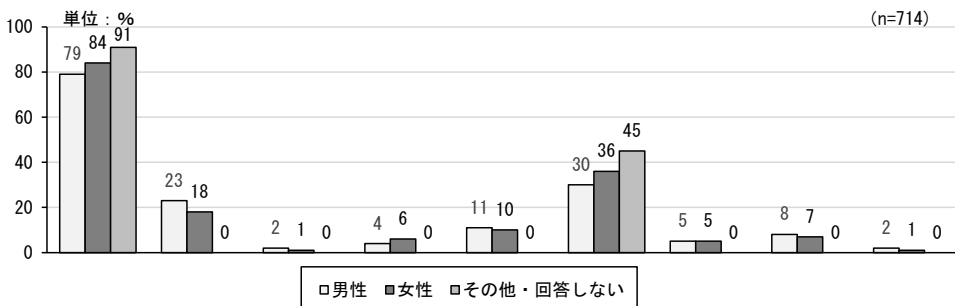
■全体



■年代（3区分）別



■性別



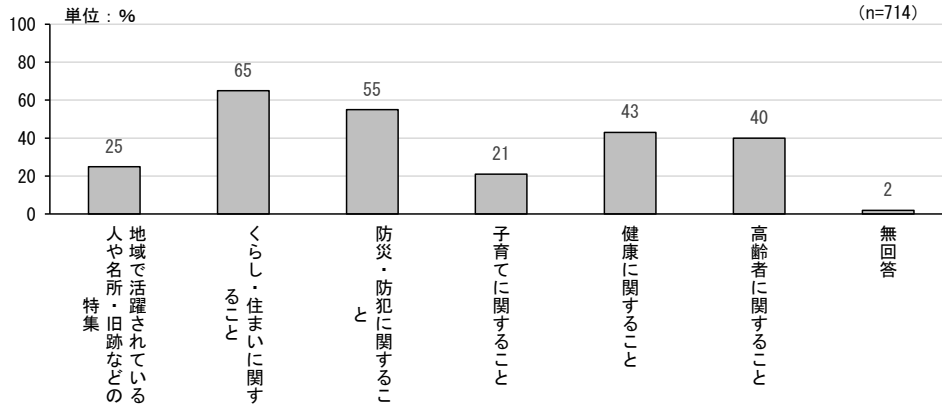
城東区広報誌「ふれあい城東」の割合が最も高く約8割

- 区役所からの情報の入手先についてみると、「城東区広報誌「ふれあい城東」」が82%と最も高く、次いで「町会の回覧、掲示板」が34%、「城東区ホームページ」が19%の順となっている。
- 年代3区分別にみると、すべての年代において「城東区広報誌「ふれあい城東」」が6割以上で最も高くなっている。
- 性別にみると、『男性』の「城東区広報誌「ふれあい城東」」が79%、『女性』の同84%とそれぞれ最も高くなっている。

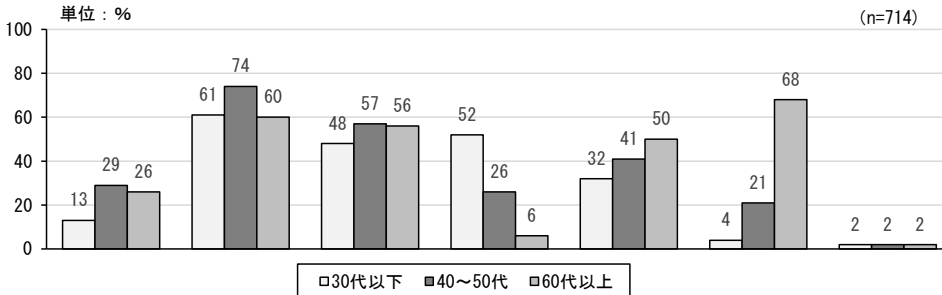
問2 城東区広報誌「ふれあい城東」で、充実してほしい記事はどれですか。（回答は
いくつでも）

● 広報誌で充実してほしい記事（複数回答）

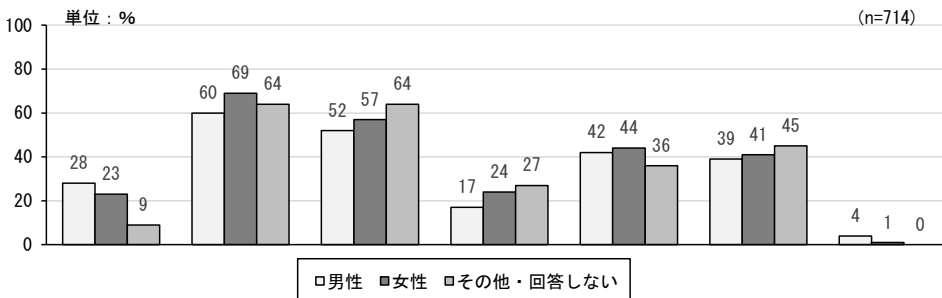
■ 全体



■ 年代（3区分）別



■ 性別

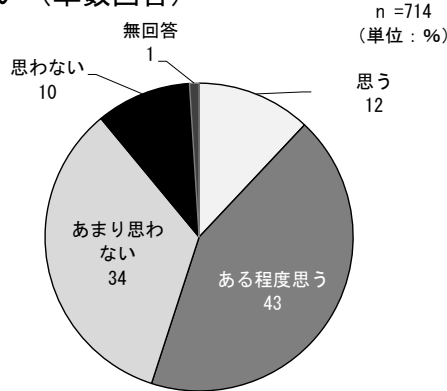


「暮らし・住まいに関すること」の割合が最も高く6割半

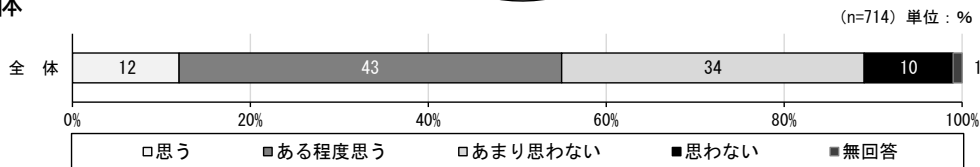
- ・ 広報誌で充実してほしい記事についてみると、「暮らし・住まいに関すること」が65%と最も高く、次いで「防災・防犯に関すること」が55%、「健康に関すること」が43%の順となっている。
- ・ 年代3区分別にみると、年代3区分別にみると、『40代～50代』の「暮らし・住まいに関すること」が74%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の「暮らし・住まいに関すること」が60%、『女性』の同69%とそれぞれ最も高くなっている。

問3 あなたは、区役所が様々な取組み（施策・事業・イベントなど）について、企画・計画段階から区民の参画や協働を得るように努めていると思いますか。（回答は1つだけ）

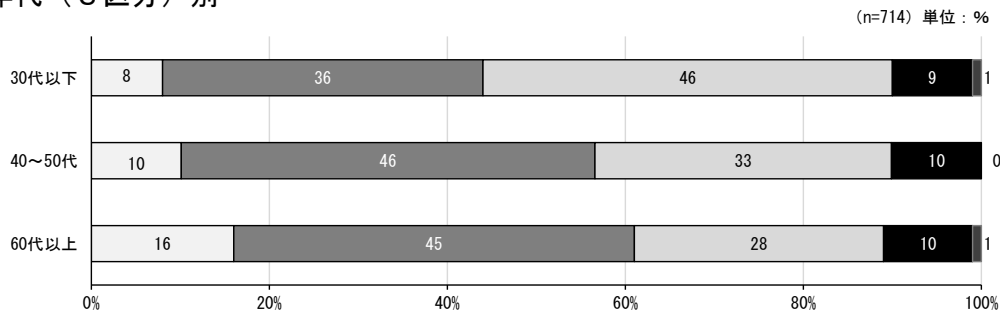
●区役所の取組みに対する思い（単数回答）



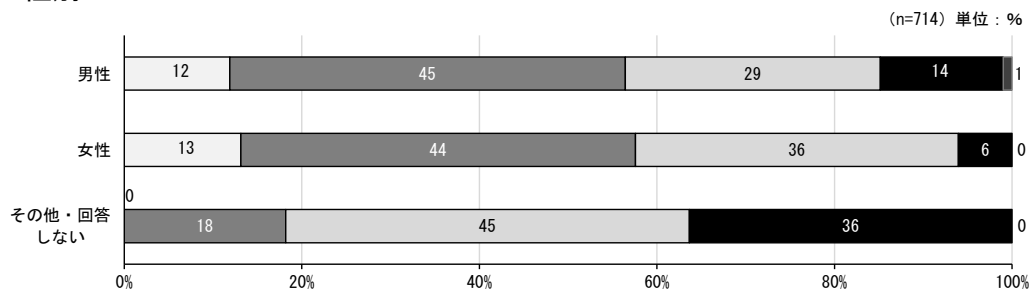
■全体



■年代（3区分）別



■性別

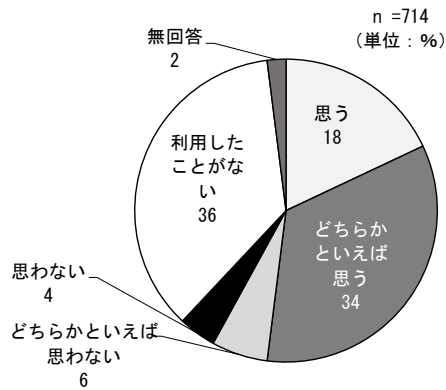


「思う」「ある程度思う」の合算の割合は5割半

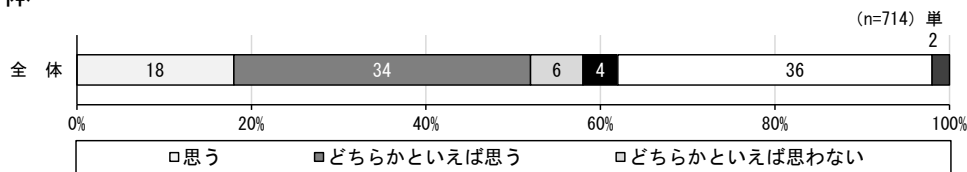
- ・区役所の取組みに対する思いについてみると、「ある程度思う」が43%と最も高く、次いで「あまり思わない」が34%、「思う」が12%の順となっている。
- ・“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）は、55%で5割半となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が61%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が57%で5割弱となっている。

問4 令和4年12月に1階のレイアウトを変更しましたが、以前と比べて待ち時間が過
ごしやすくなったと思いますか。(回答は1つだけ)

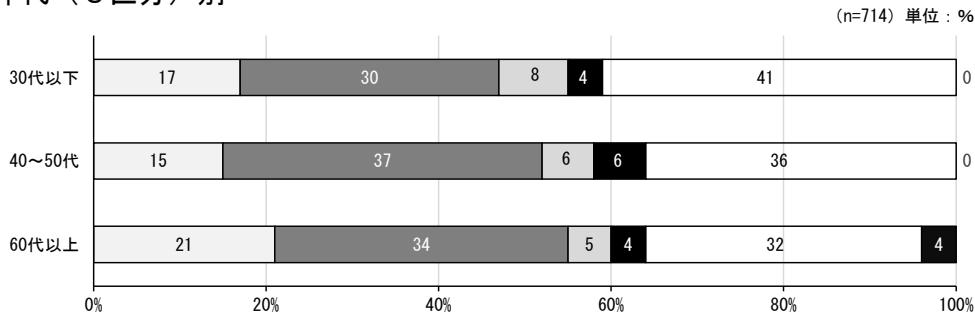
●区役所1階のレイアウト変更後の過ごしやすさ(単数回答)



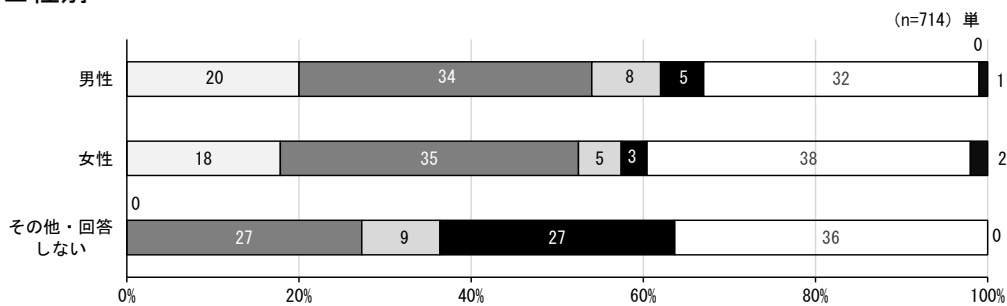
■全体



■年代(3区分)別



■性別



「思う」「どちらかといえば思う」の合算の割合は約5割

- ・区役所1階のレイアウト変更後の過ごしやすさについてみると、「利用したことがない」が36%と最も高く、次いで「どちらかといえば思う」が34%、「思う」が18%の順となっている。
- ・“思う”(「思う」+「どちらかといえば思う」)は、52%で約5割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の“思う”(「思う」+「どちらかといえば思う」)が55%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“思う”(「思う」+「どちらかといえば思う」)が54%、『女性』の同53%と比べて1ポイント高くなっている。

問5 【問4で「3. どちらかといえば思わない」もしくは「4. 思わない」と回答された方にお聞きします。】どのような点に不満を感じられましたか。

●区役所1階のレイアウト変更に対する不満の理由（自由意見）

待ち時間について

- ・特に待ち時間が変わらないので、何とも思わない。（合計15件）
- ・閉まっている窓口が多い。レイアウトを変えても待ち時間には関係ない。
- ・レイアウトを変更しても利用者が多いのには変わらないので。そもそもの待ち時間を減らす方法を考えてほしい。
- ・相変わらず待ち時間は長いし、人が多いので、立って待つ事の方が多い。

設備について

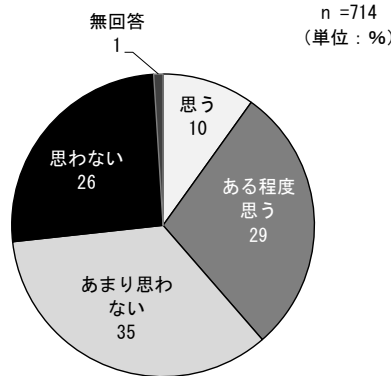
- ・椅子の向きが一方向でなくなったので、他の人が座っているとその前をまたぐようになったりして、座りにくく感じました。背もたれもなくなったし、座面がかたく感じます。
- ・椅子が少ない。杖を置く場所が無い。（イスの横などに）
- ・円形のイスはなくてもよい。
- ・待ち時間が長いので椅子の数が少なく、ゆずりあう事がある。
- ・シートがならんでいると荷物をおいて専用にしてしまうので、シートを一つずつにした方がよいです。
- ・落ち着きある感じになったのはいいと思うが、前より椅子の数が減ったように感じた。混み合うことも多いので椅子を増やしてほしい。
- ・待ち時間が長いので、その間に流れる映像などもっと充実してほしい。どうしても座っている所からの動線が重なりがちなので移動の際、気を使う。
- ・椅子がかたいし、呼び出し窓口の位置に対して椅子等の配置に一貫性がなく、どこで座って待てば良いのかパッと見わからない。
- ・椅子をもっと増やしてほしい。
- ・小さい子供が一緒の時は以前もですが待ち時間を過ごしにくいです。子供のスペースがあると助かるのですが、作る事は無理なのでしょうか。
- ・インターネットが繋がらなかった。

その他

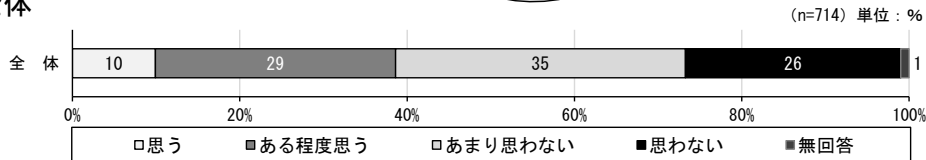
- ・何がかわったかわからない。（合計7件）
- ・不満はないが、過ごしやすとは思わない。
- ・月1で行く様な所ではないので比べられない。以前、行った時とレイアウトが異なりとまどった。
- ・そうぞうしい。
- ・特に以前と比べて良いとも感じません。
- ・居場所がないように感じられます。
- ・レイアウトを変えただけでは何も変わらない。
- ・狭い。
- ・申請に来られている方が、きちんと記述しないまま用紙を持ち込みその場で記述されていて、その分待ち時間が長引くケースを見受けました。
- ・待ち人数と窓口の数が合わない。職員は少なくないので 受ける窓口は増やしてほしい。
- ・レイアウト前と今と変わる事はない。ただ窓口人が多い時は職員も応援してあげてほしい。

問6 あなたは、魅力あるまちづくりをすすめるために区民と区役所が協働・協力して実施している各種イベントの企画運営に参加したいと思いますか。（回答は1つだけ）

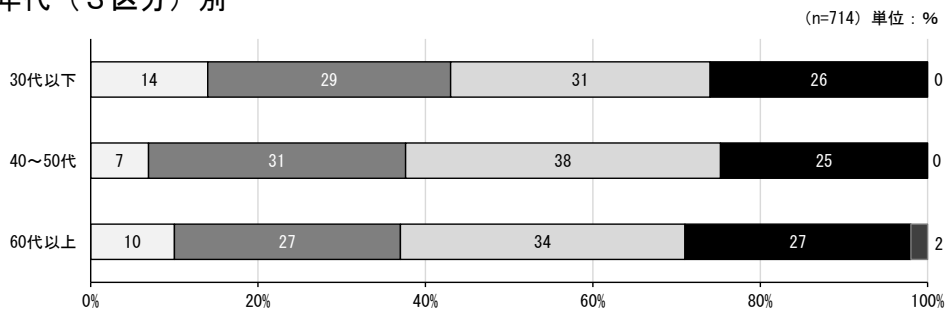
●各種イベントの企画運営に参加の思い（単数回答）



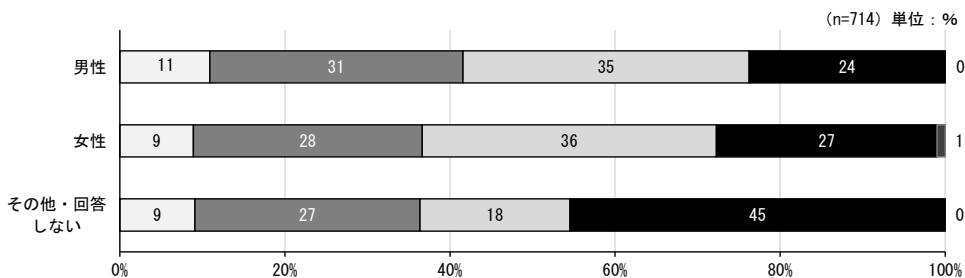
■全体



■年代（3区分）別



■性別

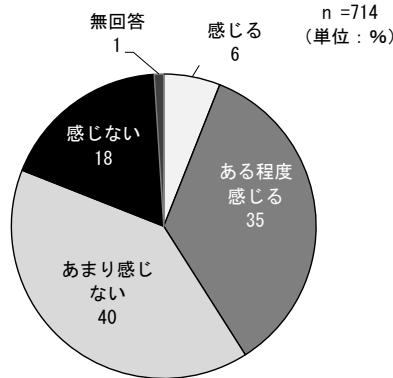


「思う」「ある程度思う」の合算の割合は約4割

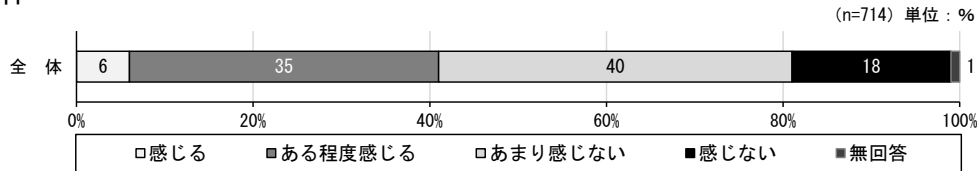
- ・各種イベントの企画運営に参加の思いについてみると、「あまり思わない」が35%と最も高く、次いで「ある程度思う」が29%、「思わない」が26%の順となっている。
- ・“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）は、39%で約4割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』の“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が43%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が42%と『女性』の同37%と比べて5ポイント高くなっている。

問7 あなたにとって住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じますか。（回答は1つだけ）

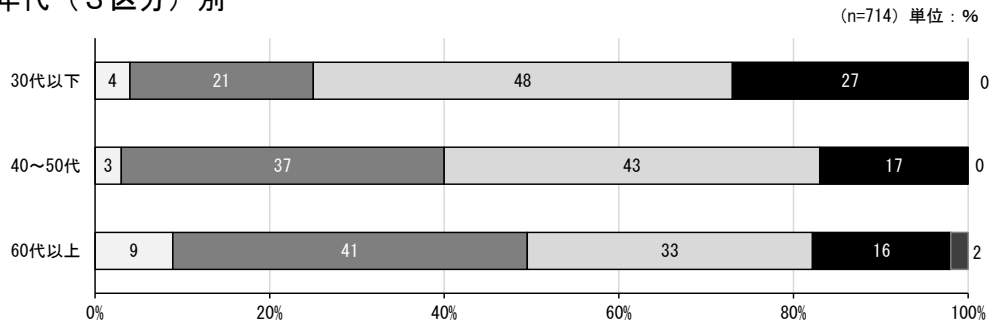
●住民同士の「つながり」等に対する感じ方（単数回答）



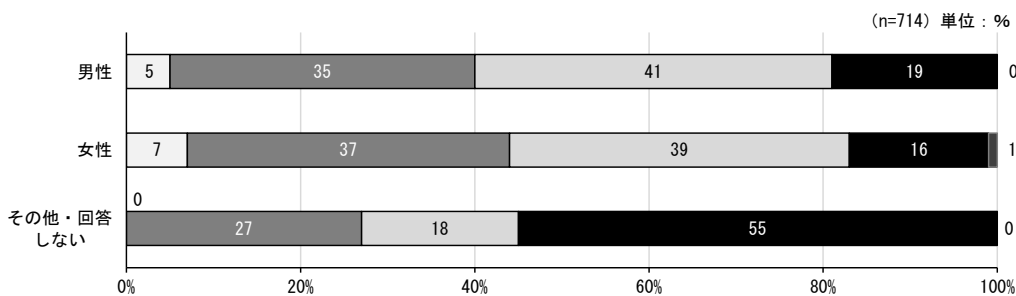
■全体



■年代（3区分）別



■性別

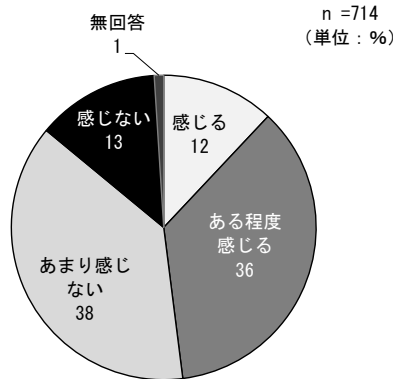


「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は約4割

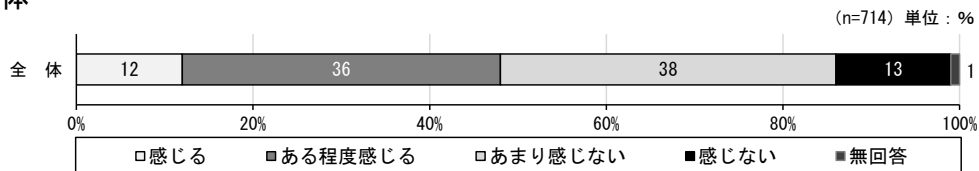
- ・住民同士の「つながり」等に対する感じ方についてみると、「あまり感じない」が40%と最も高く、次いで「ある程度感じる」が35%、「感じない」が18%の順となっている。
- ・“感じる”（「感じる」+「ある程度感じる」）は、41%で約4割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」+「ある程度感じる」）が50%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“感じる”（「感じる」+「ある程度感じる」）が40%と『女性』の同44%と比べて4ポイント低くなっている。

問8 防災についてお聞きします。お住まいの地域は、防災活動（※）に取り組んでいると感じますか。（回答は1つだけ）

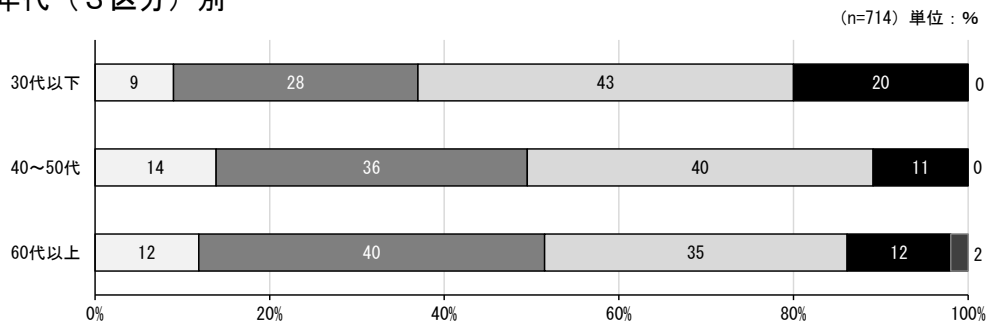
●防災活動の取り組みに対する感じ方（単数回答）



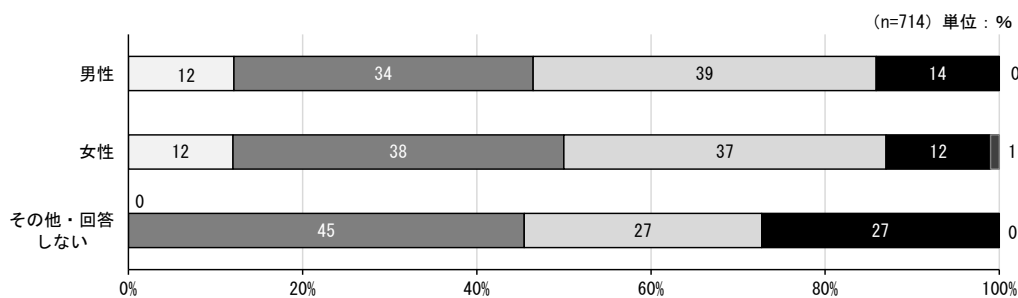
■全体



■年代（3区分）別



■性別

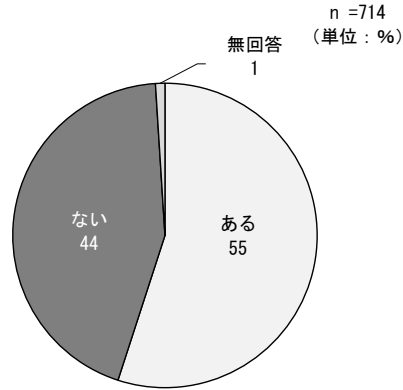


「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は約5割

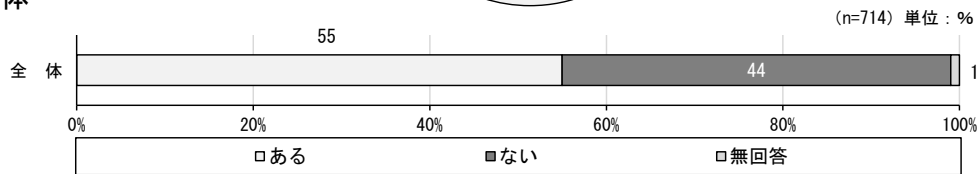
- ・防災活動の取り組みに対する感じ方についてみると、「あまり感じない」が38%と最も高く、次いで「ある程度感じる」が36%、「感じない」が13%の順となっている。
- ・“感じる”（「感じる」+「ある程度感じる」）は、48%で約5割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」+「ある程度感じる」）が52%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“感じる”（「感じる」+「ある程度感じる」）が46%と『女性』の同50%と比べて4ポイント低くなっている。

問9 区広報誌「ふれあい城東」や区公式ホームページ・SNS（X（旧Twitter）、YouTube）の防災に関する記事や投稿をご覧になったことがありますか。（回答は1つだけ）

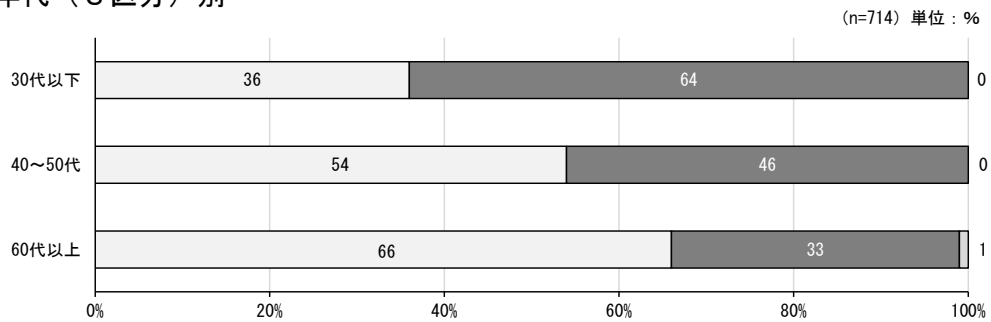
● 広報誌や SNS 等の防災に関する情報の認知（単数回答）



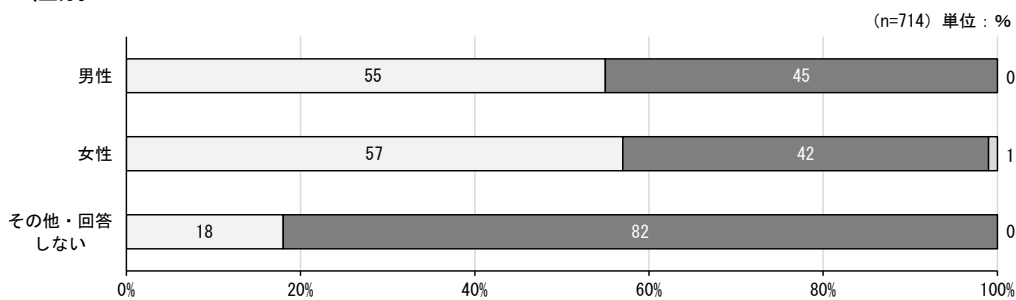
■ 全体



■ 年代（3区分）別



■ 性別

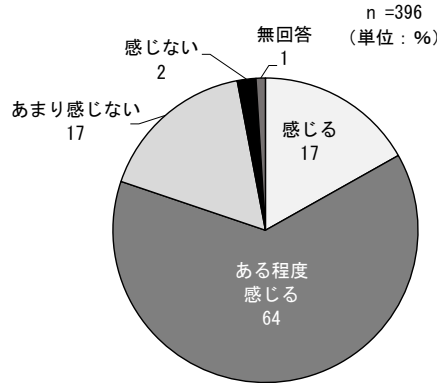


「ある」の割合が5割半

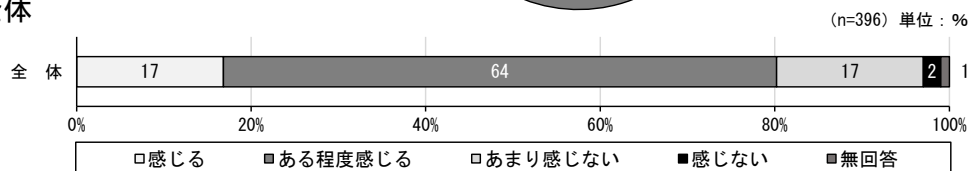
- ・ 広報誌や SNS 等の防災に関する情報の認知についてみると、「ある」が 55%で5割半となっている。
- ・ 年代3区分別にみると、『60代以上』の「ある」が66%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の「ある」が55%、『女性』の同57%とそれぞれ最も高くなっている。

問10 【問9 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。】防災に関する記事や投稿をご覧になったことにより、ご自身の防災意識が向上したと感じますか。（回答は1つだけ）

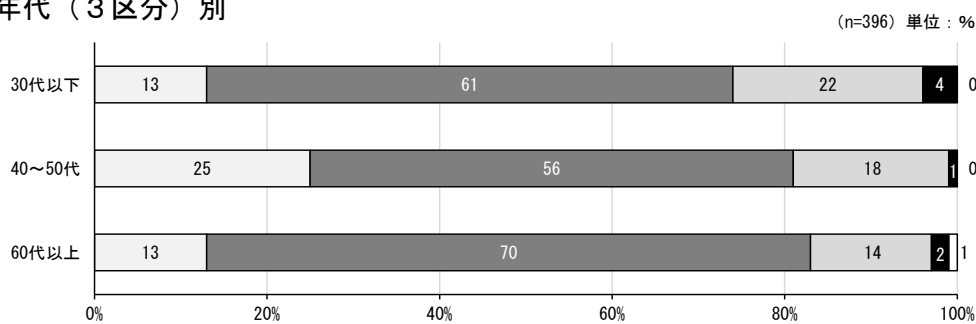
● 広報誌や SNS 等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方（単数回答）



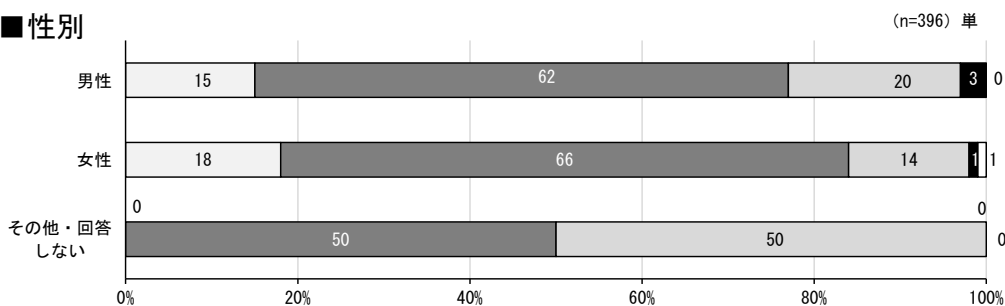
■ 全体



■ 年代（3区分）別



■ 性別

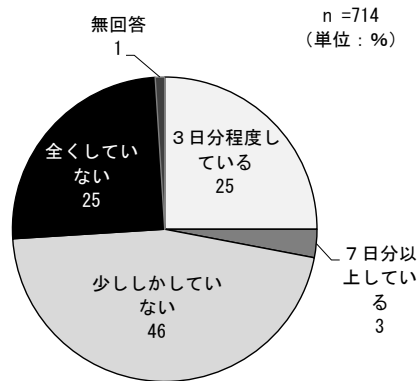


「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は約8割

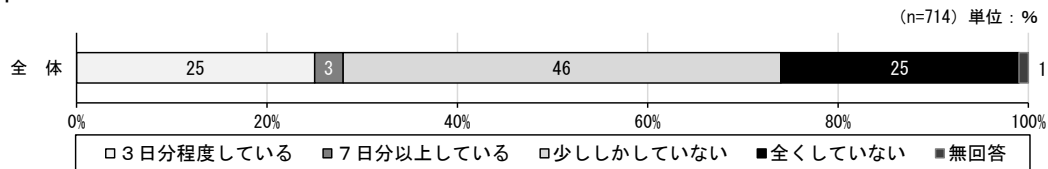
- ・ 広報誌や SNS 等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方についてみると、「ある程度感じる」が64%と最も高く、次いで「感じる」と「あまり感じない」が17%の順となっている。
- ・ “感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、81%で約8割となっている。
- ・ 年代3区分別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が83%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が77%と『女性』の同84%と比べて7ポイント低くなっている。

問11 災害に備えて飲料水や食料、携帯トイレなどの備蓄品を家族の人数分の準備をしていますか。（回答は1つだけ）

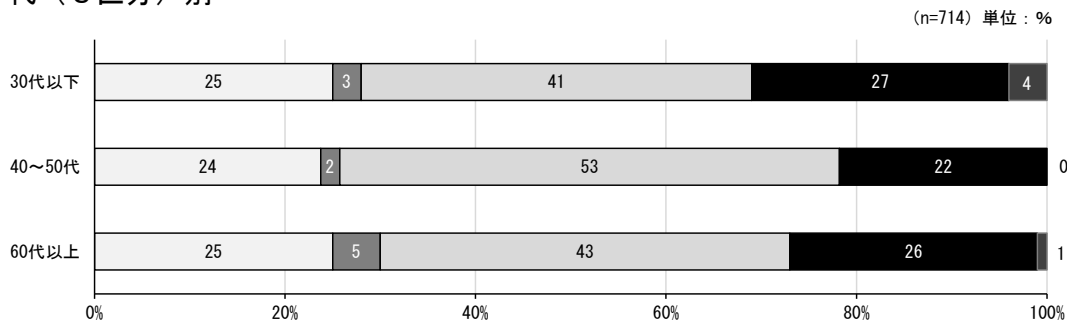
●災害に備えた備蓄品の準備（単数回答）



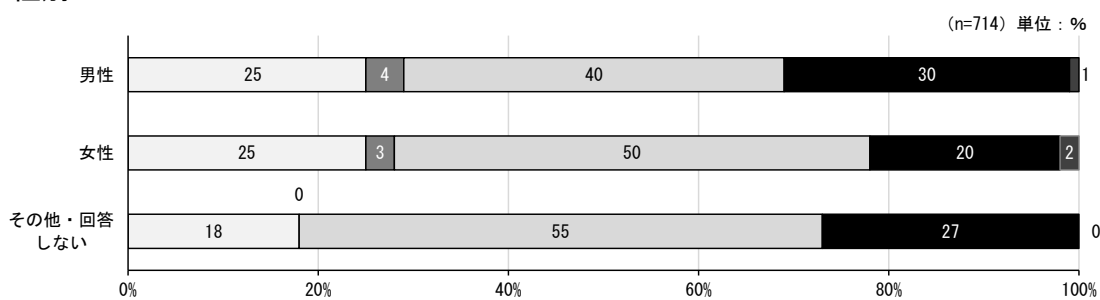
■全体



■年代（3区分）別



■性別

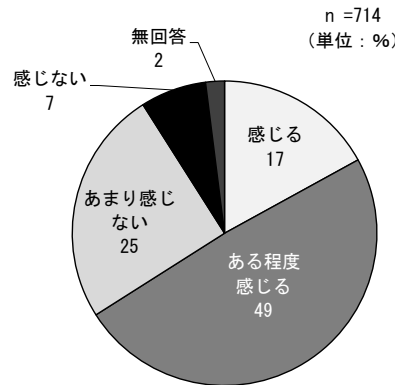


「少ししかしていない」の割合が5割弱

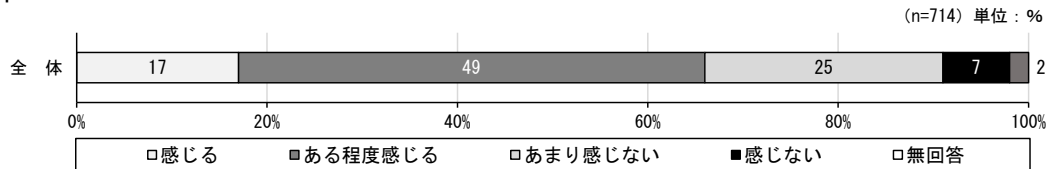
- ・災害に備えた備蓄品の準備についてみると、「少ししかしていない」が46%と最も高く、次いで「3日分程度している」と「全くしていない」が25%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40~50代』の「少ししかしていない」が53%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「少ししかしていない」が40%、『女性』の同50%とそれぞれ最も高くなっている。

問12 防犯についてお聞きします。あなたは、防犯の取組みが犯罪の発生抑止につながっていると感じますか。(回答は1つだけ)

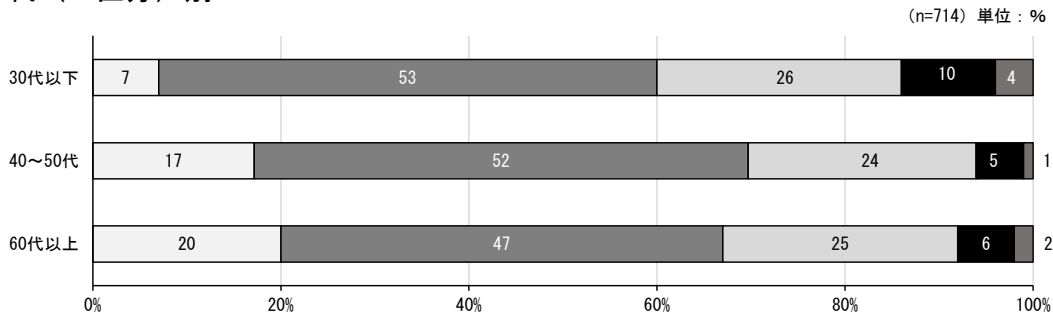
●防犯の取組みに対する感じ方(単数回答)



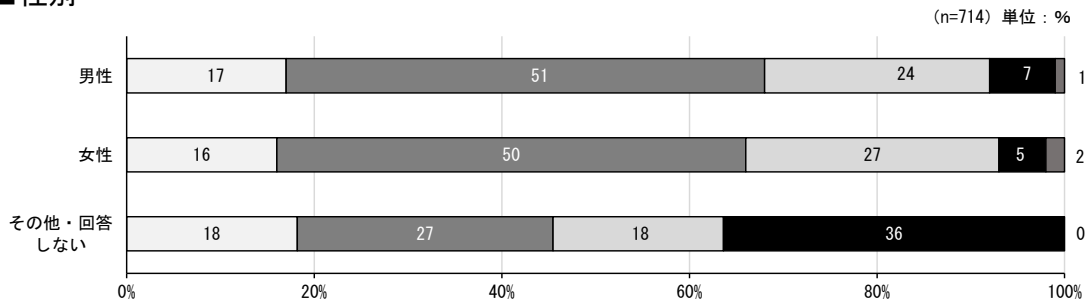
■全体



■年代(3区分)別



■性別

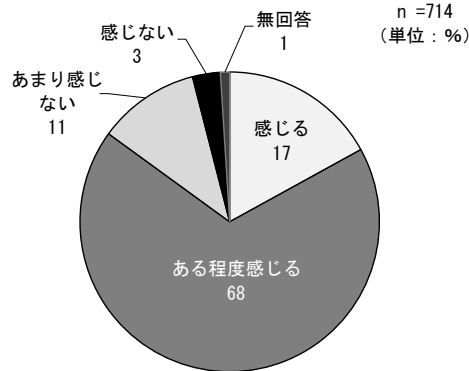


「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は7割弱

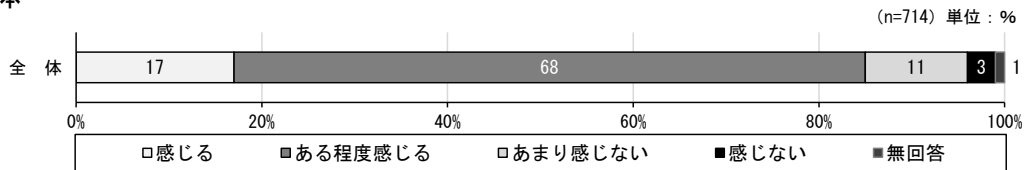
- ・防犯の取組みに対する感じ方についてみると、「ある程度感じる」が49%と最も高く、次いで「あまり感じない」が25%、「感じる」が17%の順となっている。
- ・“感じる”(「感じる」+「ある程度感じる」)は、66%で7割弱となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40~50代』の“感じる”(「感じる」+「ある程度感じる」)が69%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“感じる”(「感じる」+「ある程度感じる」)が68%と『女性』の同66%と比べて2ポイント高くなっている。

問13 あなたのお住まいのまちが安全で安心だと感じますか。（回答は1つだけ）

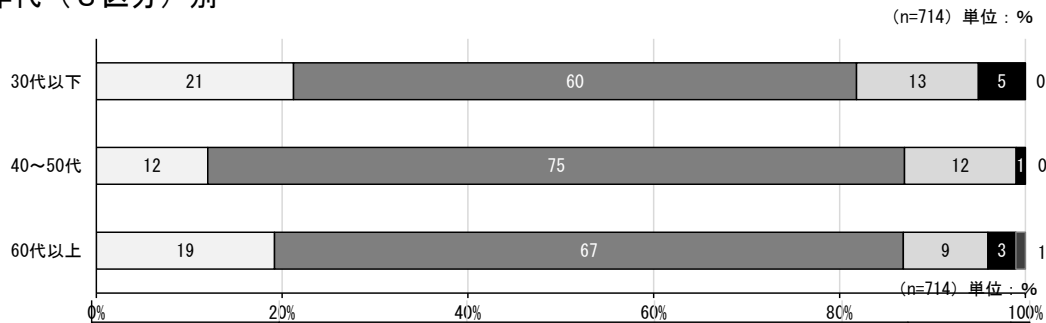
●まちの安全に対する感じ方（単数回答）



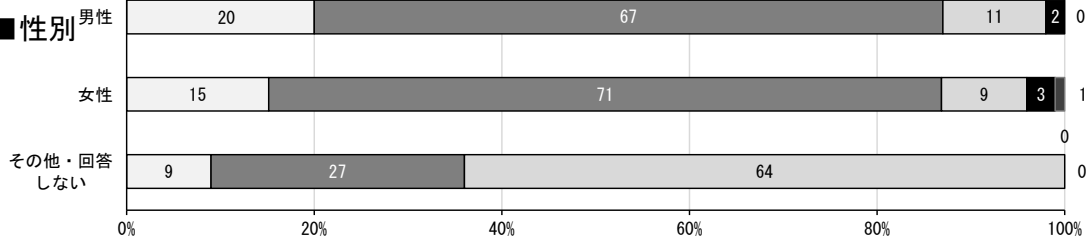
■全体



■年代（3区分）別



■性別



「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は8割半

- ・まちの安全に対する感じ方についてみると、「ある程度感じる」が68%と最も高く、次いで「感じる」が17%、「感じない」が11%の順となっている。
- ・“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、85%で8割半となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が87%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が87%と『女性』の同86%と比べて1ポイント高くなっている。

問14 【問13で「3.あまり感じない」又は「4.感じない」と回答された方にお聞きします。】安全で安心だと感じない理由は何ですか。

●防犯の取組みが安全と感じない理由（自由意見）

自由意見

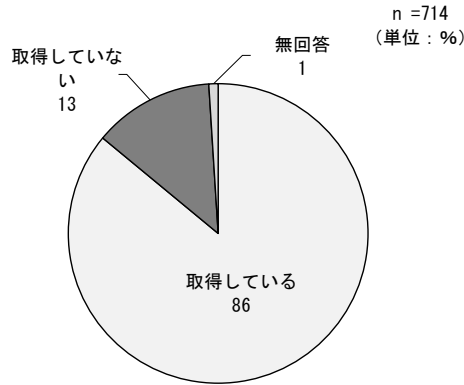
- ・夜の外灯が少ない。（合計5件）
- ・空き家が多い。（合計2件）
- ・家の前の道が狭く、古い家が多く、救急車・消防自動車・パトカーが入ってこれない。
- ・犬の散歩をされている方のマナーがとても悪いから。
- ・近所の人の変人で考え方が違う、非常識、人の家にドロボーに入りそうな感じの人たち。
- ・駅周辺は治安が悪く思う（いかがわしいお店がある）。
- ・隣り近所とのつながりが薄すぎる。
- ・近所の人が大声で叫んでる。
- ・何が起こるか予測はできないから。
- ・家族が詐欺にあった。
- ・近所のスーパーに強盗が入った。
- ・まだ入居して半年なので、ご近所との関係が構築できていない。（特にマンションの外の住民と）
うちは高齢者母子世帯で不安。
- ・「派出所」近くアリの看板（略図入りなど）がほしい。
- ・以前カード詐欺の電話があり、カードを解約していたので被害はなかったのですが、いろんな詐欺が横行している様子です。特に高齢者は新しいことが苦手なので情報発信をうまく出来ないものかと思います。
- ・自転車の交通違反が多い、夜間の騒音（暴走族）が多い。
- ・警察の方のパトロールがあまり見られない。ボランティアの方の見守り隊は大変ありがたく、子供達にとっては安全かと思いますが、防犯カメラの設置を増やしたり、警官パトロールの協力も必要かと思います。
- ・団地に住んでいますが悪戯がひどいです。インターホンのモニター付がほしいです。
- ・変な人がいたなどの話をちよくちよく聞くから。
- ・高齢者地域の為、残念ながら防犯に対する認識が薄いと思います。
- ・交番がない、各所に作ってほしい。
- ・50年余り前より今の地域に住んでますので友人が沢山いますが、8年程前よりマンションひとり暮らしになりマンションは、気心が知る人が無く少し不安です。でも、マンション内で親しくなった人もいます。（地域全体は、くらしやすいです。）
- ・放火、強盗。
- ・いろいろな事件情報が防犯登録サイトからメールで届くから。
- ・車のマナー違反、特に不必要なクラクションでの威嚇、あおり運転等が目立つ。
- ・回りにどんな人が住んでいるかわからない、がまんするしかない（迷惑をかけられたとしても）。
- ・SNSでの発生情報を見るとコロナ禍以降、政治不信も加えて国の経済も状況が悪くなってきていて犯罪が増えているから。
- ・活動してる人をみかけない。青色パトロールもみかけない。

自由意見（つづき）

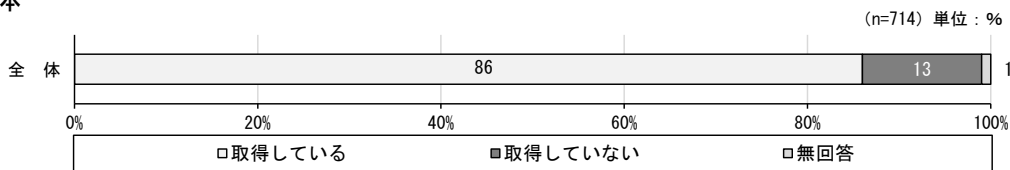
- ・歩道を我が物顔で走る自転車など、ワンルームマンションの下に人が寝ころんでいた、駐輪所に置いていた自転車のサドルが取られた。
- ・線路側や高架下が暗くて怖い。
- ・パトカーの出動が多い。
- ・自営業をしていますが、外は破損したり悪戯されたりします。火事も多い。東中浜は。
- ・住人同志の連携ができていない。公園などに若者がたむろっていたり、不審者がいたりする。自転車など外部者の不法投棄がある。
- ・街灯防犯カメラの設置。車の一旦停止が守られていないため、事故が多い。
- ・歩行者と自転車の道が分かれておらず、どちらを歩けば良いのか分からない。自動車のドライブで、歩行者を気にかけていない人が多い。
- ・道が狭い、住宅密集、自宅敷地からはみ出し路上駐車、犯罪、災害に明らかに弱そう。
- ・自転車の走行が子供から大人まで無茶苦茶でとても危険。自転車に関する法律が変わっても殆どの人は無視しているように思う。警察署が中心になって何がどう変わったか啓蒙活動をして欲しい。
- ・特に遊歩道等本来なら人が専用な所でも自転車は我がもの顔で走行します。電動の自転車が増え、お母さんが前後に子供を乗せてすごい勢いで遊歩道を走るのはどうかと思います。初めて自転車に乗る子供さんには徹底して基本を教えてあげて欲しい。両親に任せてはいつまで経っても変わらない。また、自転車道の整備をお願いします。
- ・自分勝手な者達が、この数年増えて来たから。タバコのポイ捨て、ごみのポイ捨て、飛び出す自転車、車道の真ん中を歩き避ける気が無い者、その他諸々。他人のモノを勝手に持ち去ったり、何だかんだと細かな犯罪が増えた気がする。
- ・夜中にマンションのベンチで騒いでるものがある。
- ・普段の生活しているなかで安全で安心を感じる時、見える事がないから。
- ・自転車に当て逃げされ必死で相手が逃げて行った2回ほど。同じマンション内にストーカーみたいな人がいます。
- ・城東区は詐欺やひったくりなどの犯罪が多いと感じている。昔に当たり屋にあい警察に届けたが署員の態度があまりに怠慢だったのでそれから警察の人は信用していない。
- ・最近も強盗事件があったから。
- ・花の盗難やメダカ鉢を荒らされたり、大したことで無いと思われるが、気持ち悪い。
- ・車や自転車は信号無視が多く、夜中も五月蠅い人間が多いので、女性が一人で帰るのも怖いぐらいです。
- ・道幅が狭く、また自転車の通行量が多いため、結果的に危険な場面が時々ある。
- ・蒲生四丁目あたりに、合法大麻みたいな怪しげな店があること。
- ・昼夜問わずあまり人通りがない。出したゴミをとる人がいる。下水から強烈な汚水の匂いが、一年を通してあちこちから匂う（水害などでマンホールから水が溢れた時の病原菌の感染が高そう）。
- ・郵便物の盗難に何度もあっているため。
- ・ゴミが落ちている公園が多い。
- ・最近、近隣で強盗事件があったり、頻繁にパトカーや救急車、消防車が走っているので。
- ・犬の糞を処理しない人や歩きタバコが多く、マナーが悪い人が多いため要は町が美しくない。結局、そういう町は犯罪が多くなる。

問15 あなたはマイナンバーカードを取得していますか。（回答は1つだけ）

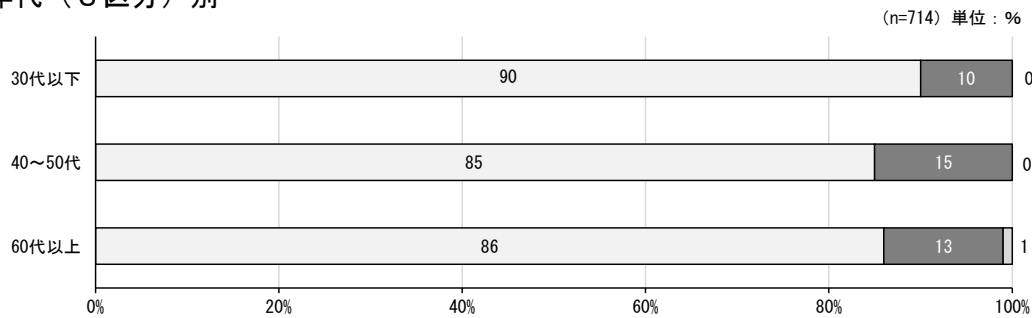
●マイナンバーカードの取得有無（単数回答）



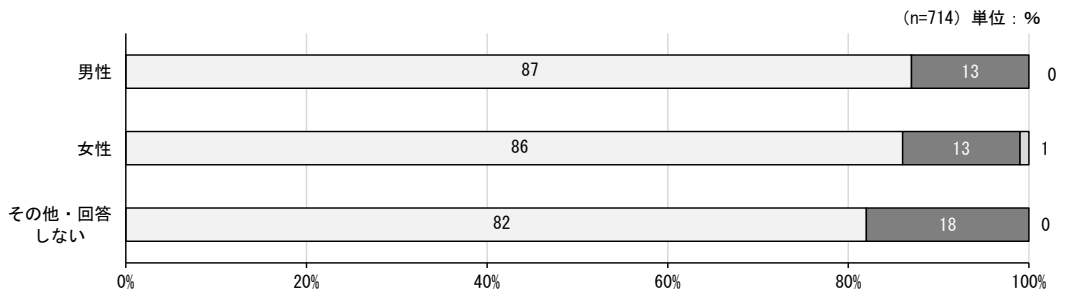
■全体



■年代（3区分）別



■性別



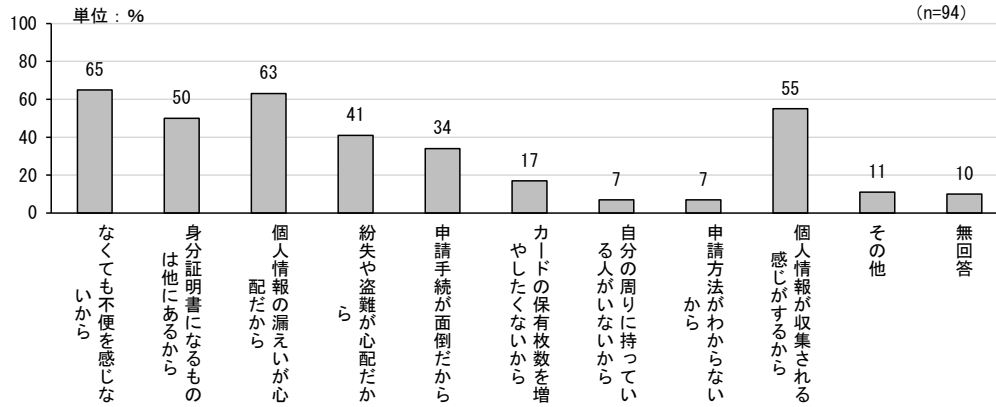
「取得している」の割合が9割弱

- ・マイナンバーカードの取得有無についてみると、「取得している」が86%で9割弱となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』の「取得している」が90%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「取得している」が87%、『女性』の同86%とそれぞれ最も高くなっている。

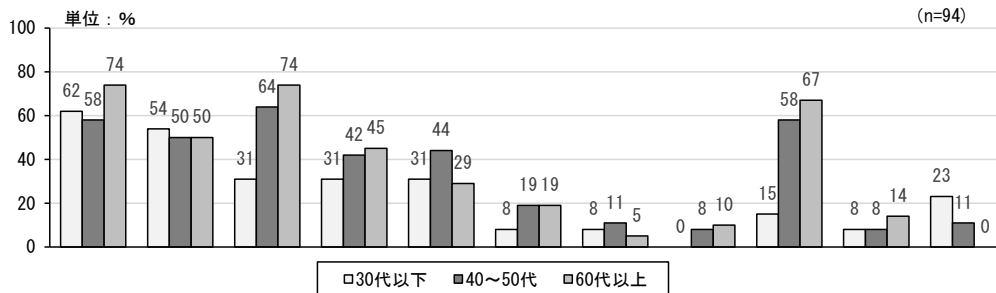
問16 【問15で「2. 取得していない」と回答された方にお聞きします。】マイナンバーカードを取得しない理由は何ですか。（回答はいくつでも）

●マイナンバーカードを取得しない理由（複数回答）

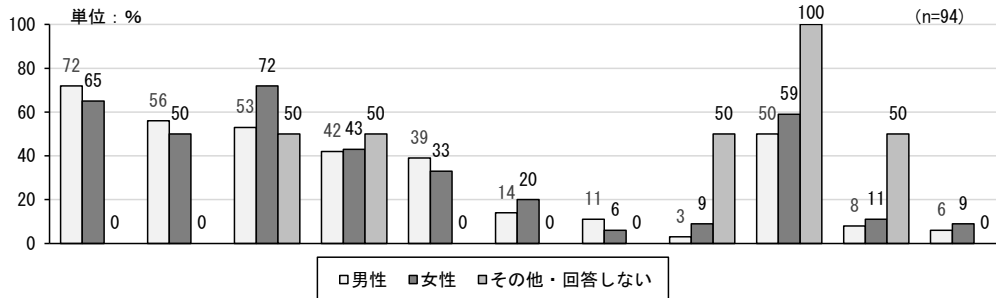
■全体



■年代（3区分）別



■性別

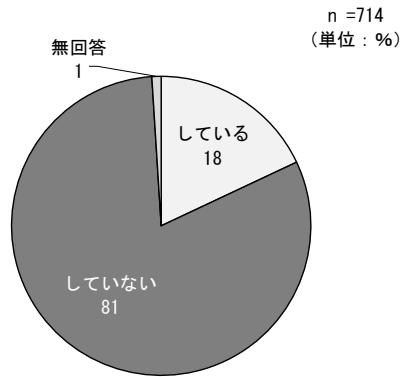


「なくても不便を感じないから」の割合が最も高く6割半

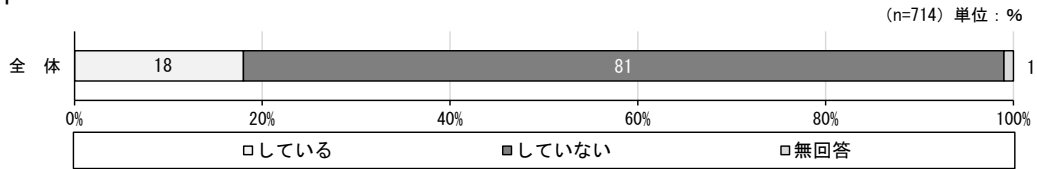
- ・マイナンバーカードを取得しない理由についてみると、「なくても不便を感じないから」が65%と最も高く、次いで「個人情報の漏えいが心配だから」が63%、「個人情報が収集される感じがするから」が55%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の「なくても不便を感じないから」と「個人情報の漏えいが心配だから」が74%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「なくても不便を感じないから」が72%、『女性』の「個人情報の漏えいが心配だから」が72%とそれぞれ最も高くなっている。

問17 あなたは現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。（回答は1つだけ）

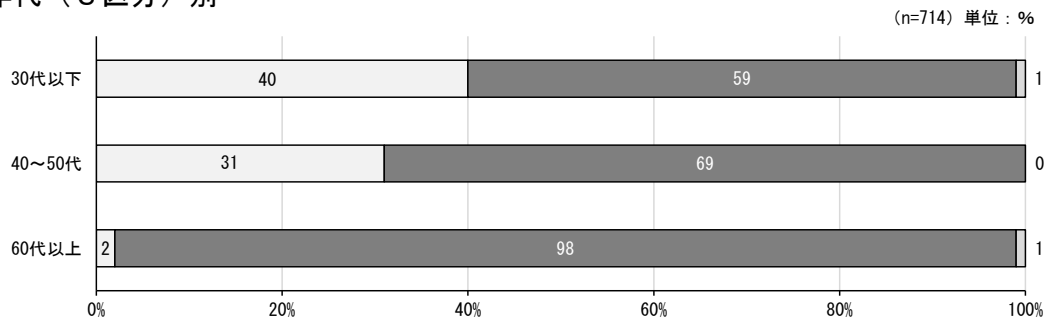
●中学生以下の子どもの子育て有無（単数回答）



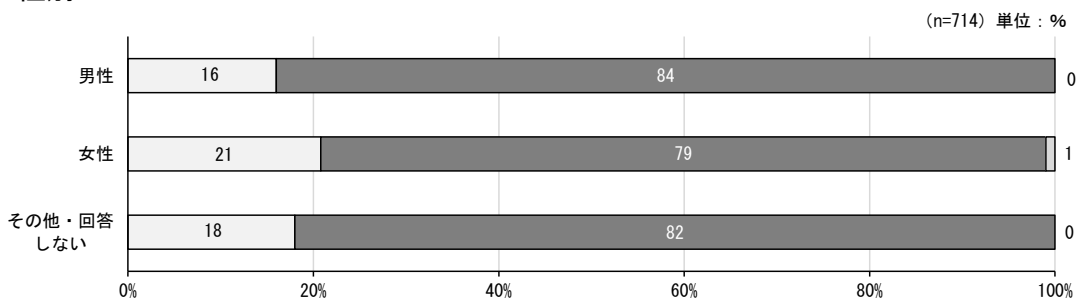
■全体



■年代（3区分）別



■性別

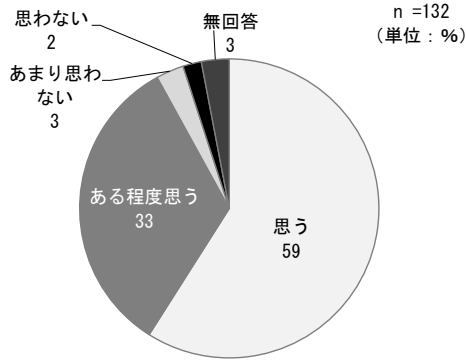


「してない」の割合が約8割

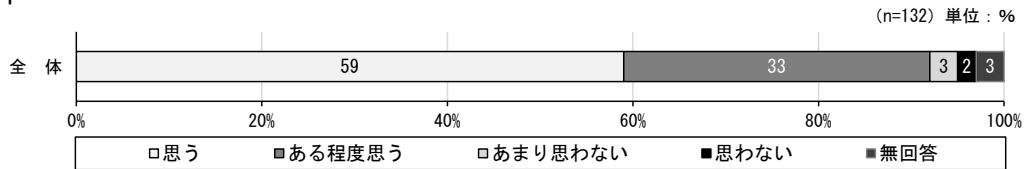
- ・中学生以下の子どもの子育て有無についてみると、「してない」が81%で約8割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の「してない」が98%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「してない」が84%、『女性』の同79%とそれぞれ最も高くなっている。

問18 【問17で、中学生以下のお子さまの子育てを「1. している」と回答された方にお聞きます。】あなたは、これからも城東区で子どもを育てていきたいと思えますか。（回答は1つだけ）

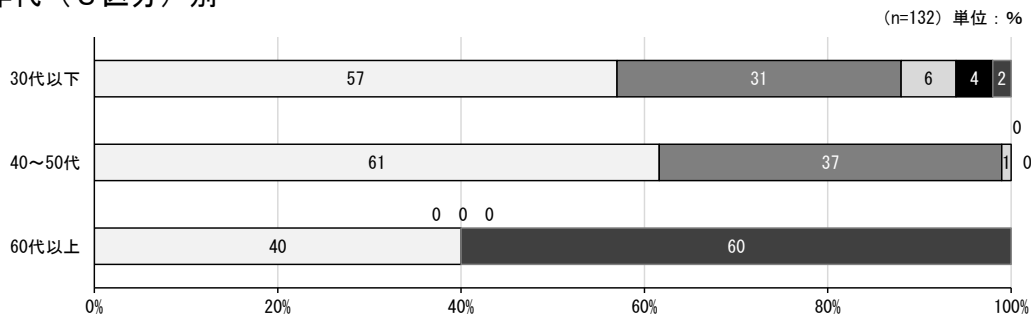
●城東区で子どもを育てたい思い（単数回答）



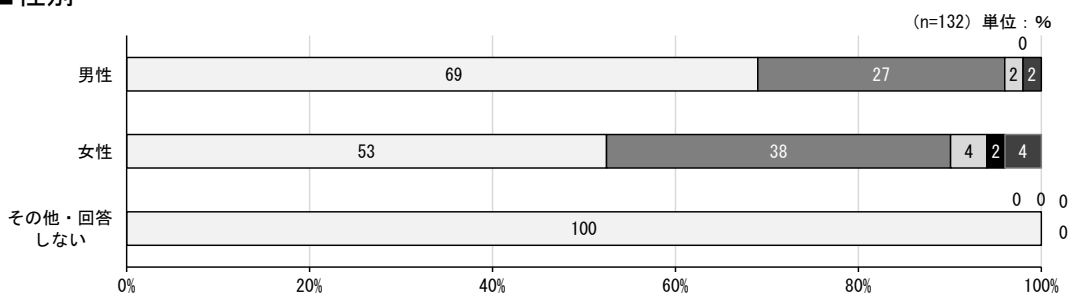
■全体



■年代（3区分）別



■性別

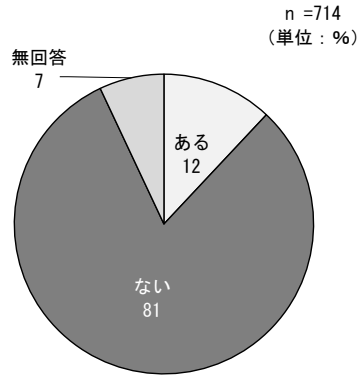


「思う」「ある程度思う」の合算の割合は約9割

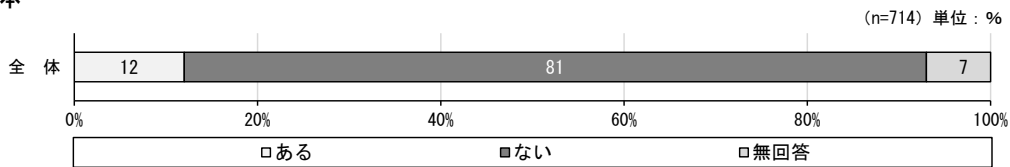
- ・城東区で子どもを育てたい思いについてみると、「思う」が59%と最も高く、次いで「ある程度思う」が33%、「あまり思わない」が3%の順となっている。
- ・“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）は、92%で約9割となっている。
- ・年代3区分別にみると、全世代の“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が約9割を超えている。
- ・性別にみると、『男性』の“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が96%と『女性』の同91%と比べて5ポイント高くなっている。

問19 あなたは子育て支援事業に参加したことがありますか。（回答は1つだけ）

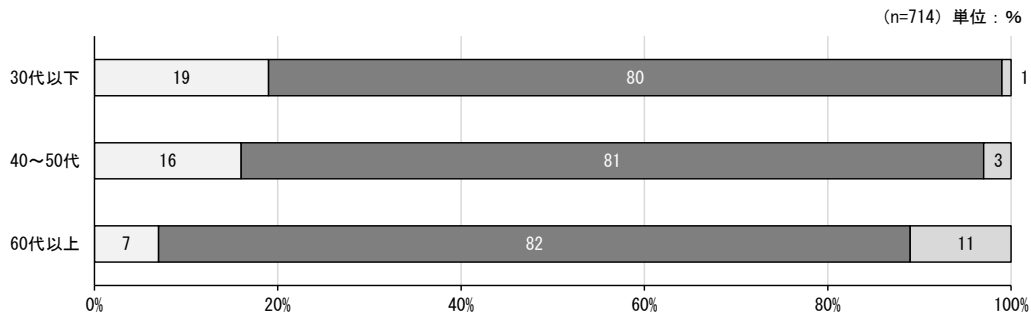
●子育て支援事業の参加有無（単数回答）



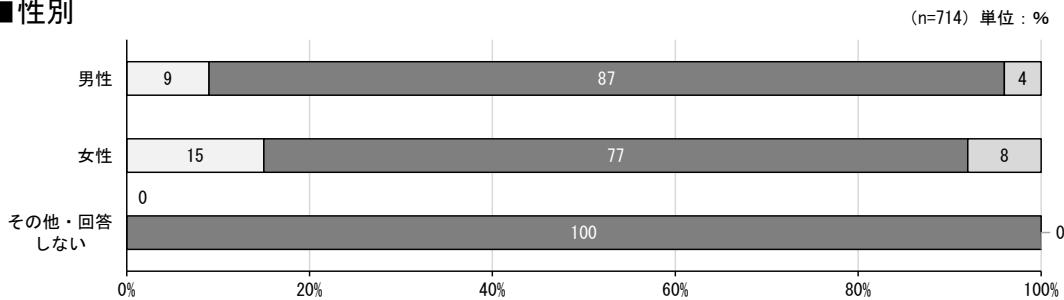
■全体



■年代（3区分）別



■性別



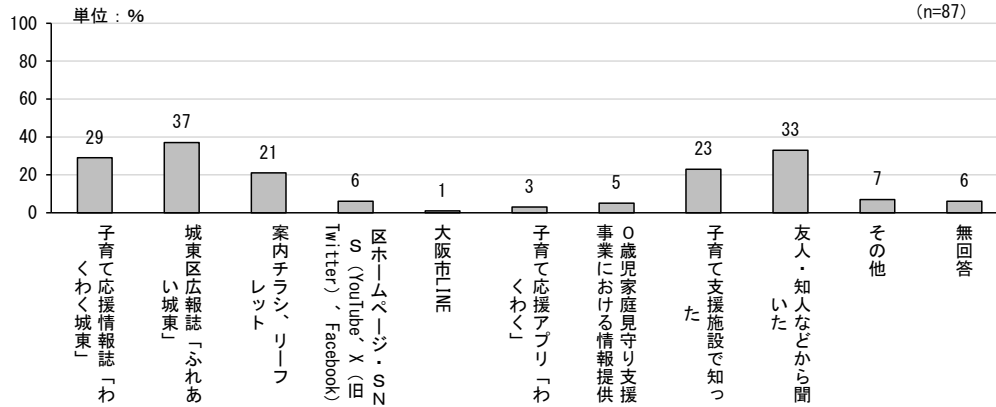
「ない」の割合が約8割

- ・子育て支援事業の参加有無についてみると、「ない」が81%で約8割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の「ない」が82%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「ない」が87%、『女性』の同77%とそれぞれ最も高くなっている。

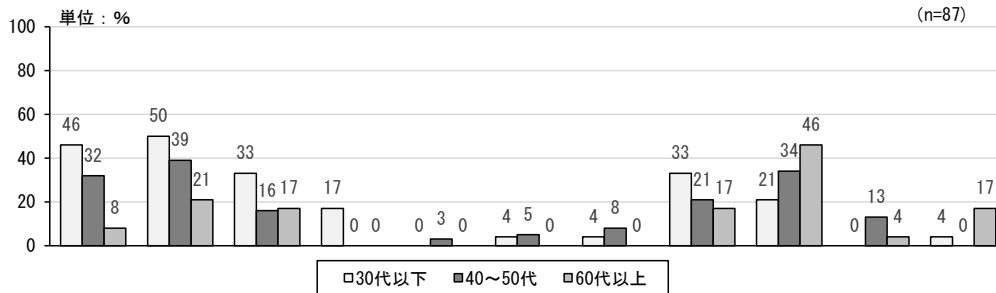
問20 【問19で「ある」と回答された方にお聞きします。】参加された事業の開催情報は何で知りましたか。(回答はいくつでも)

●子育て支援事業の開催情報の入手先（複数回答）

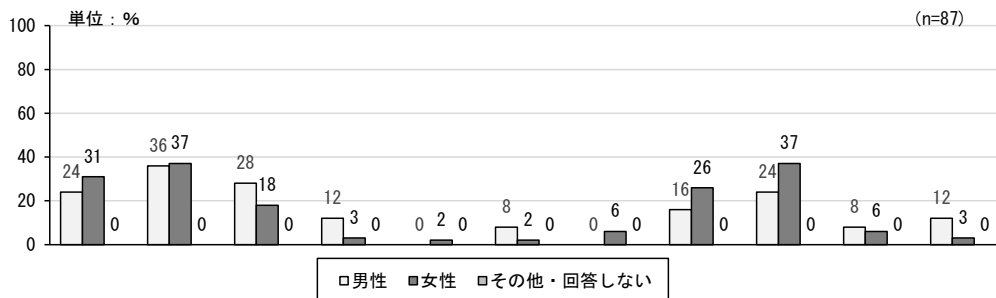
■全体



■年代（3区分）別



■性別

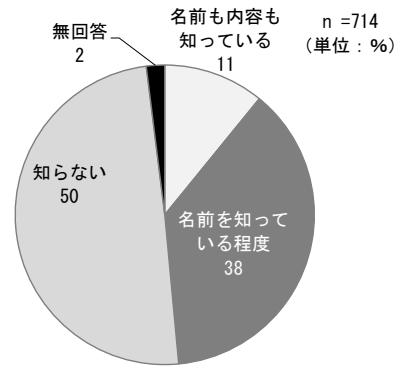


「城東区広報誌「ふれあい城東」」の割合が最も高く4割弱

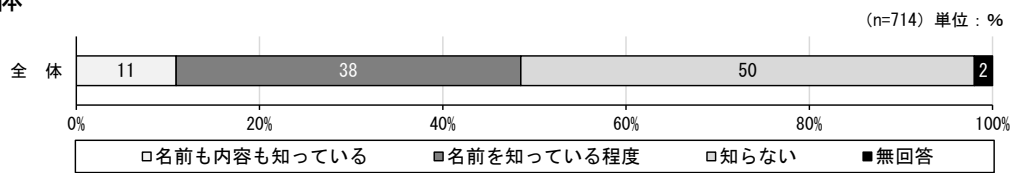
- ・子育て支援事業の開催情報の入手先についてみると、「城東区広報誌「ふれあい城東」」が37%と最も高く、次いで「友人・知人などから聞いた」が33%、「子育て応援情報誌「わくわく城東」」が29%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』の「城東区広報誌「ふれあい城東」」が50%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「城東区広報誌「ふれあい城東」」が36%、『女性』の「城東区広報誌「ふれあい城東」」と「友人・知人などから聞いた」が37%とそれぞれ最も高くなっている。

問21 あなたは、「いきいき百歳体操」をご存じですか。（回答は1つだけ）

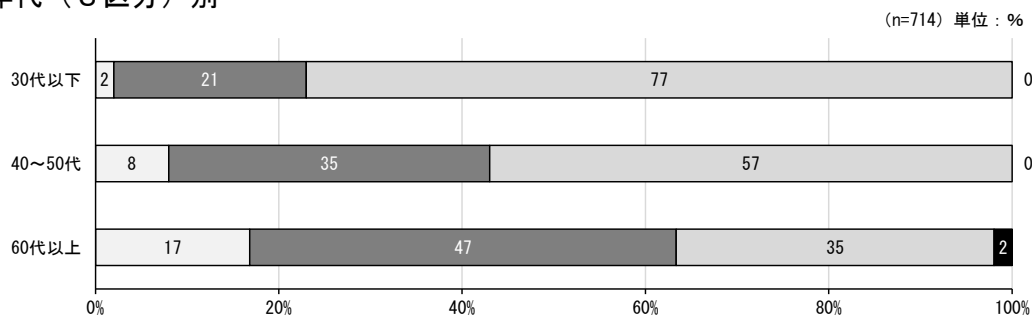
● 「「いきいき百歳体操」の認知（単数回答）



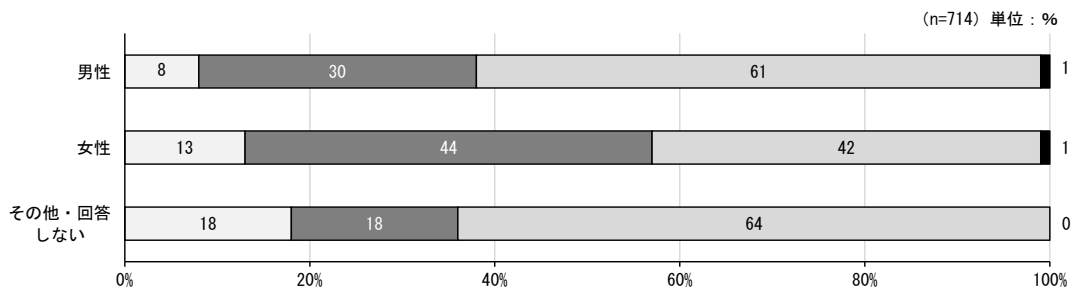
■ 全体



■ 年代（3区分）別



■ 性別

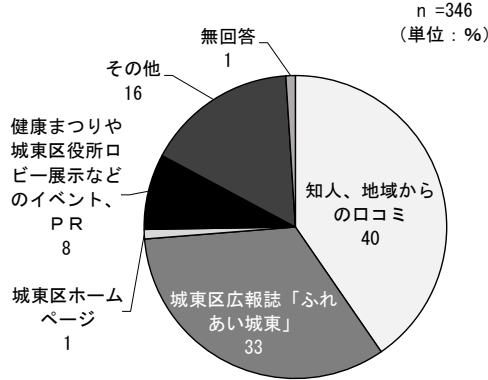


「知らない」の割合が5割

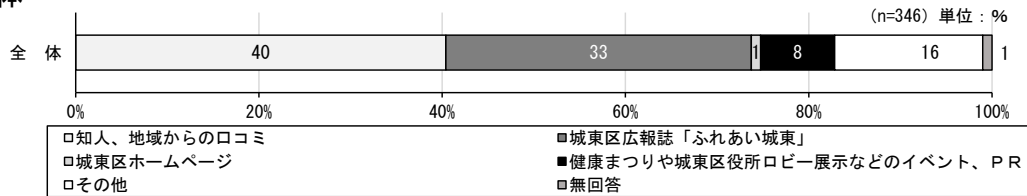
- ・「いきいき百歳体操」の認知についてみると、「知らない」が50%で約5割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』の「知らない」が77%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「知らない」が61%、『女性』の「名前を知っている程度」が44%とそれぞれ最も高くなっている。

問22 【問21で「1. 名前も内容も知っている」もしくは「2. 名前を知っている程度」と回答された方にお聞きします。】いきいき百歳体操を何で知りましたか。
(回答は1つだけ)

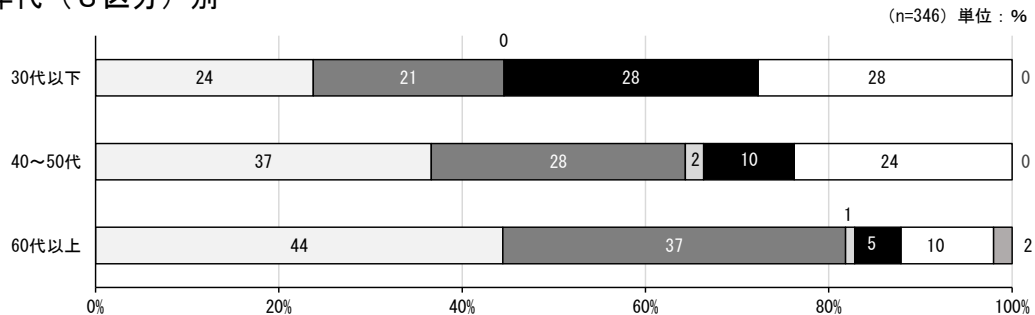
● 「いきいき百歳体操」に関する情報の入手先 (単数回答)



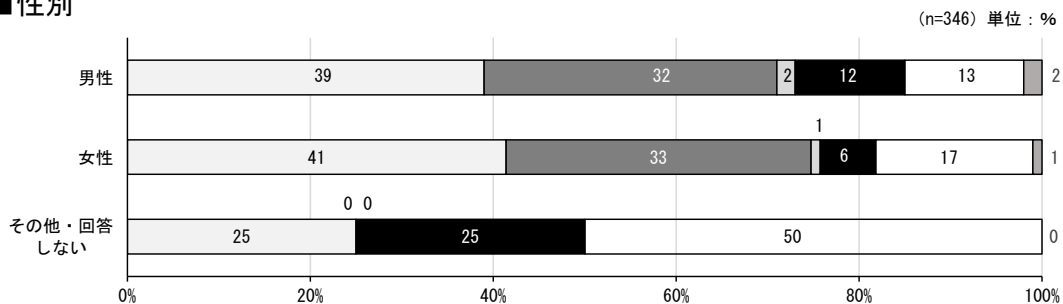
■ 全体



■ 年代 (3区分) 別



■ 性別

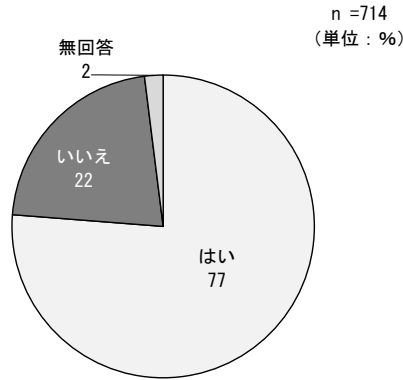


「知人、地域からの口コミ」の割合が4割

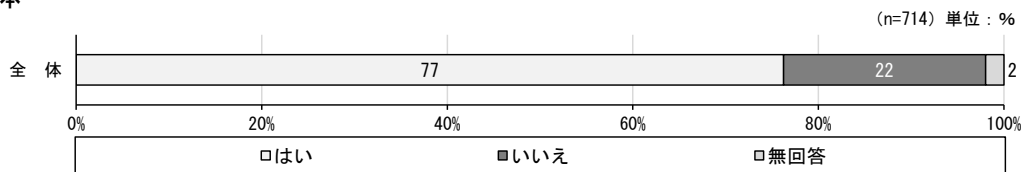
- ・「いきいき百歳体操」に関する情報の入手先についてみると、「知人、地域からの口コミ」が40%と最も高く、次いで「城東区広報誌「ふれあい城東」」が33%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の「知人、地域からの口コミ」が44%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「知人、地域からの口コミ」が39%、『女性』の同41%とそれぞれ最も高くなっている。

問23 ふだん健康に配慮した食事を心がけていますか。(回答は1つだけ)

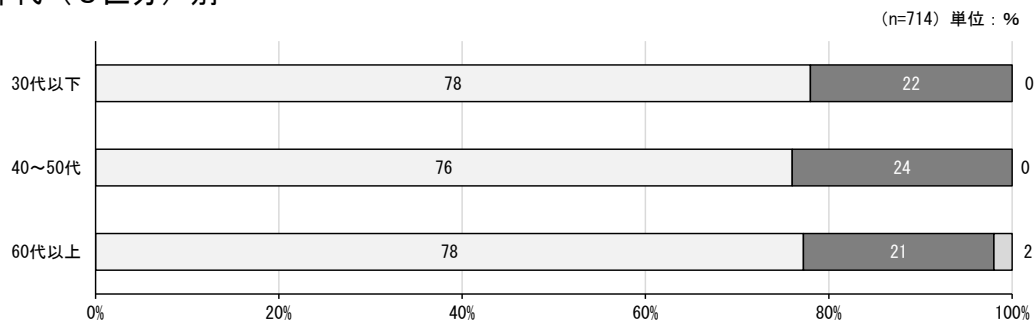
●健康に配慮した食事への思い(単数回答)



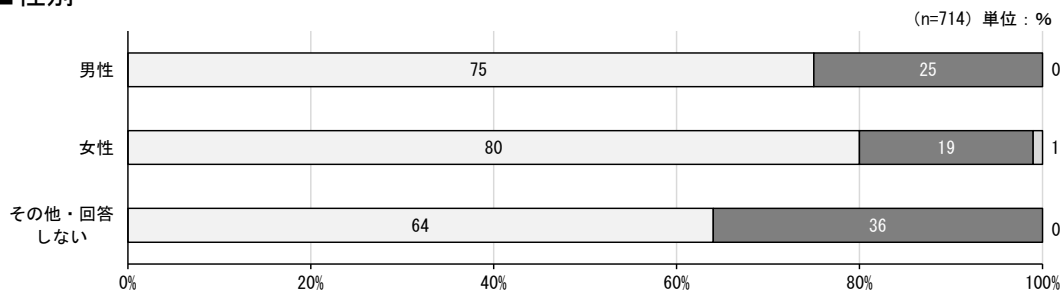
■全体



■年代(3区分)別



■性別

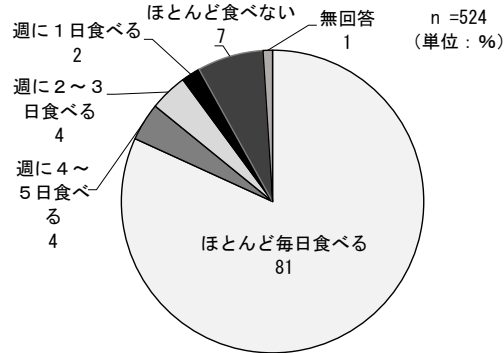


「はい」の割合が8割弱

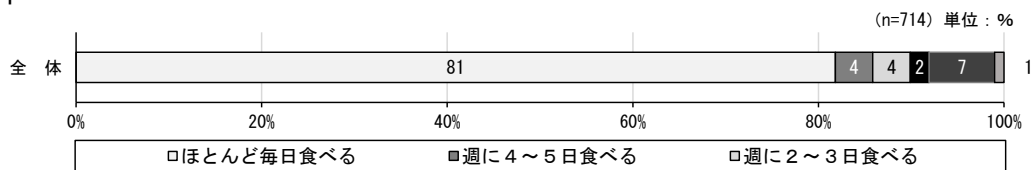
- 健康に配慮した食事への思いについてみると、「はい」が77%で8割弱となっている。
- 年代3区分別にみると、『30代以下』と『60代以上』の「はい」が78%と他の年代と比べて高くなっている。
- 性別にみると、『男性』の「はい」が75%、『女性』の同80%とそれぞれ最も高くなっている。

問24 ふだん朝食を食べていますか。(回答は1つだけ)

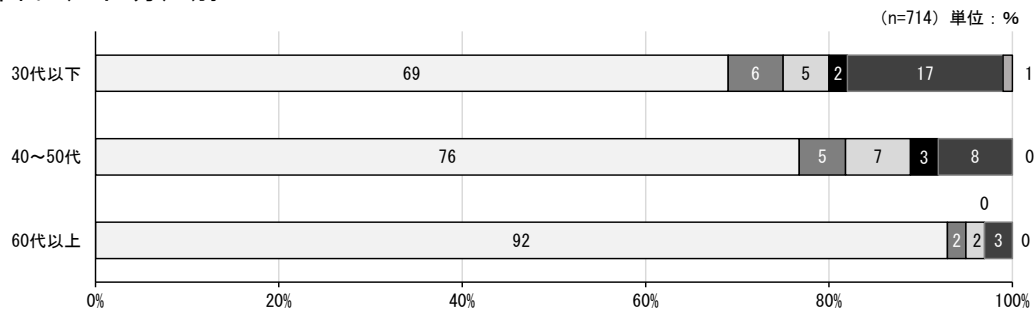
●朝食摂取の有無(単数回答)



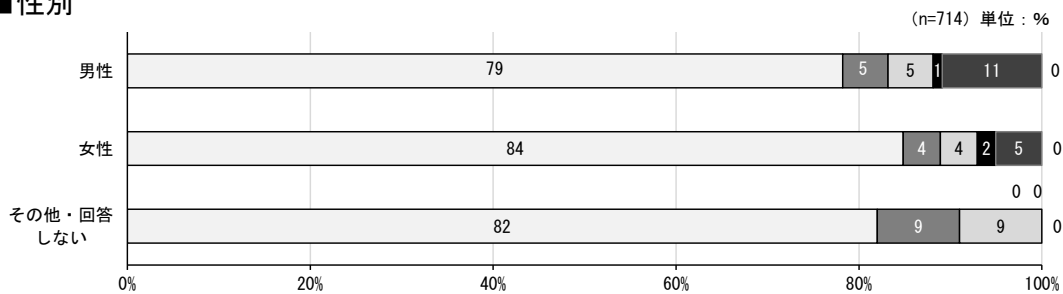
■全体



■年代(3区分)別



■性別

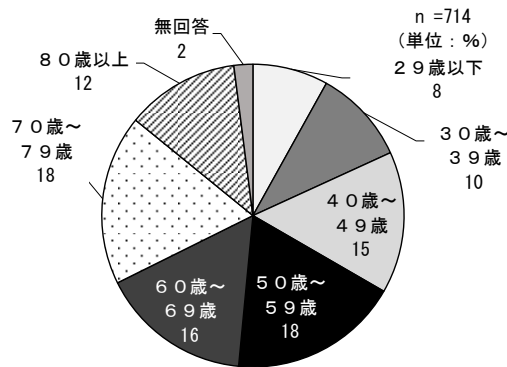


「ほとんど毎日食べる」の割合が約8割

- ・朝食摂取の有無についてみると、「ほとんど毎日食べる」が81%で約8割となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の「ほとんど毎日食べる」が92%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「ほとんど毎日食べる」が79%、『女性』の同84%とそれぞれ最も高くなっている。

問25 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つだけ）

●年齢（単数回答）

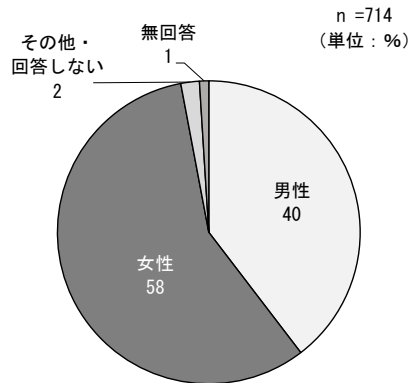


「50歳~59歳」と「70歳~79歳」の割合が約2割

・年代についてみると、「50歳~59歳」と「70歳~79歳」が18%と最も高く、次いで「60歳~69歳」が16%、「40歳~49歳」が15%の順となっている。

問26 あなたの性別をお答えください。（回答は1つだけ）

●性別（単数回答）

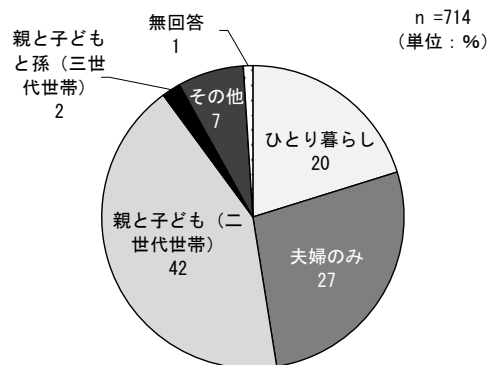


「女性」の割合が約6割

・性別についてみると、「男性」が40%、「女性」が58%となっている。

問27 あなたの家族構成についてお伺いします。（回答は1つだけ）

●家族構成（単数回答）

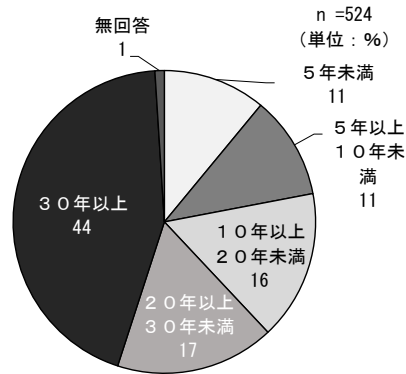


「親と子ども（二世帯世帯）」の割合が約4割

・家族構成についてみると、「親と子ども（二世帯世帯）」が42%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が27%、「ひとり暮らし」が20%の順となっている。

問28 城東区にお住まいになられてどれくらいになりますか。(回答は1つだけ)

●居住年数(単数回答)

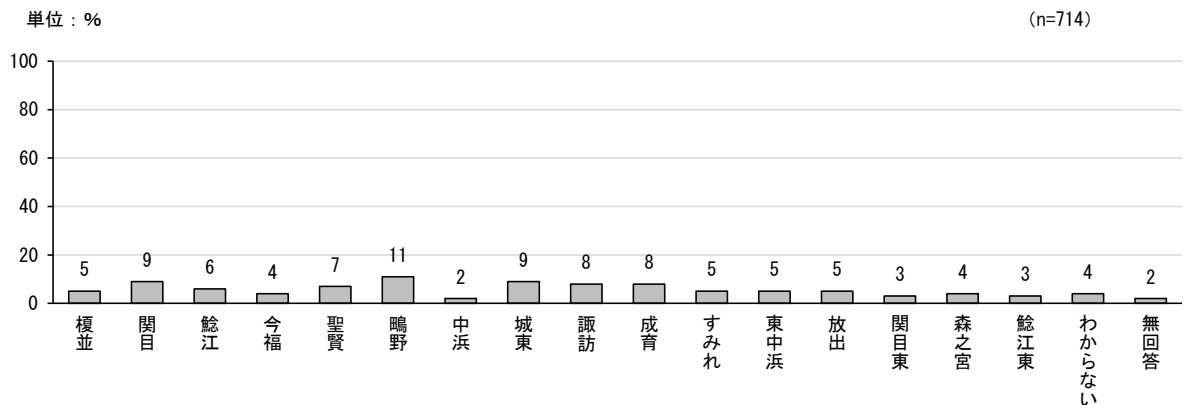


「30年以上」の割合が4割強

- ・居住年数についてみると、「30年以上」が44%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」が17%、「10年以上20年未満」が16%の順となっている。

問29 お住まいの地域(小学校区)はどちらですか。(回答は1つだけ)

●お住まいの地域(単数回答)



「鳴野」の割合が約1割

- ・お住まいの地域についてみると、「鳴野」が11%と最も高く、次いで「関目」と「城東」が9%、「諏訪」と「成育」が8%の順となっている。

